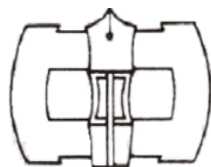


平尾中学校だより



校訓
前進



長島町立平尾中学校 平尾 5719 番

TEL・FAX 88-2013 令和6年7月号



1学期を終えるに当たり

校長 有馬 賢一

今月は梅雨末期の大雨から梅雨明けの季節となりました。さて今年度は、「一人一人が輝く平尾中」を目標に取り組んでいます。今学期は新入生12名が加わり、本校の様々な場面で新しい風を吹かせています。特に朝のあいさつ運動や清掃活動にボランティアとして参加する生徒が増えてきました。なかには送風機を使って落ち葉清掃を手伝う生徒もおり、大人顔負けの作業に圧倒されます。そのような中、早くも2学期の学校行事（体育大会、文化祭）に向けた話し合いが2・3年生を中心に進められています。体育大会オリエンテーションでは紅白それぞれに分かれ、応援団長・副団長のあいさつや紅白選手・役員等の話し合いがありました。白組団長から「白組が2年連続負けているので、今年は絶対に勝ちましょう。」という言葉があり目標達成に向けた真剣な姿が見られました。白組はリレー順番を念入りに話し合い、紅組は応援団演舞の動画を全体で視聴し、1年生が早く覚えられるよう取り組んでいました。両団が団結し、上級生が下級生に親切に教える姿は本校のよき伝統として受け継いでほしいです。また、文化祭についても、テーマが「Colorful～個性輝く文化祭～」に決定し、各学年でこれまで学習した内容をどのように発表するかを話し合っています。特に全体合唱は美しい音色を奏でるため、2学期の朝の活動等にパート別の練習を取り入れる予定です。学習はもちろん、全員で協力し何かを成し遂げることはとても素晴らしいと思います。一人一人の輝きを更に磨いてほしいと思います。

さて、明日から44日間の夏休みに入ります。それぞれの計画に従い、規則正しい生活を心がけ、充実した時間を過ごしてください。何と言っても「命」を大切に、安全で思い出に残る夏休みにしてください。9月2日の登校時は皆さんの元気な姿を見ることを楽しみにしています。

最後に保護者・地域の皆様には今学期大変お世話になりました。ありがとうございました。夏休みは毎年恒例の御八日踊りや平尾夏祭りなど、地域行事が多数あります。生徒の活躍の場があれば是非参加させていただけるとありがたいです。また、生徒への声かけ等もよろしくお願ひします。

授業参観・学校・学級 PTA

6月28日(金)の授業参観では担任授業が行われ、子どもたちはやや緊張しながらも頑張っていました。学校・学級 PTA では普段の子どもたちの様子や今後の行事について説明がありました。



3年 PTA あいさつ運動

7月2日～3日に3年生のPTAのあいさつ運動がありました。生徒たちも気持ちよくあいさつができていました。朝早くからご協力ありがとうございました。



学校運営協議会(CS)

7月9日の学校運営協議会では、小学校と中学校の1学期の学校の様子や課題等について、話し合いがなされました。



初めての期末テスト

初めての期末テストに向けて、1年生は、2週間前から計画的に学習する姿が見られました。結果を元に夏休みの学習も頑張ってください。



講師の先生から多くの学びを



<郷土料理学習>

長島町の食生活改善推進委員会の方に、キビナゴの手開きや地元の野菜を使ったかいのこ汁の作り方を教えていただきました。



<租税教室>

長島町の税務課の方に税の種類や税の使われ方について学習し、納税の大切さを学びました。



<食育教室>

給食センターの栄養教諭の方から、栄養バランスのとれた食事の大切さを学びました。



<育英館高校出前講座>

育英館高校からALTの先生と英語の先生をお招きして、英語の自己紹介の動画作りをしました。タブレットを上手に使い、全体発表しました。

体育大会オリエンテーション・文化祭に向けて

7月12日(金)に、文化祭のテーマが発表され、それに合わせて、各学年で演目内容を検討しました。学年の発表内容を話し合ったり、イメージマップを作って考えたりしながら、内容の検討をしました。それぞれの学年の発表が楽しみです。

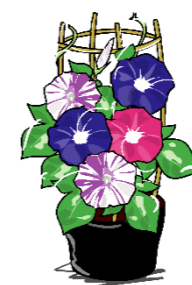
7月13日(土)は体育大会オリエンテーションが行われました。紅白の団長と副団長が決まり、声高らかに意気込みを全校生徒の前で発表してくれました。2学期最初の大きな行事に向けて、これから本格的な活動が始まります。1年生から3年生が全員で協力し合って、素晴らしい演舞を完成させてほしいです。



8・9月の行事

【8月】

- 1日 出校日
- 10日 御八日踊り・平尾地区夏祭り
- 11日 リフレッシュウイーク(～17日)
- 13日 学校閉庁日(～15日)
- 21日 出校日 PTA新聞第1号発行
- 25日 PTA愛校作業(午前)



【9月】

- 2日 始業式 3年実力テスト
- いじめ問題を考える週間(～7日) 生活アンケートの日
- 3日 3年実力テスト 集金日(～5日)
- いじめ問題を考える授業 生活リズム週間(～9日)
- 4日 ノー部活デー
- 5日 学習タイム
- 9日 5時間授業
- 10日 教育委員会事務局訪問

- 11日 体育大会全体練習 ノー部活デー
- 12日 体育大会全体練習
- 13日 体育大会全体練習
- 14日 土曜授業 体育大会全体練習
- 17日 体育大会準備
- 18日 体育大会全体練習 ノー部活デー
- 19日 体育大会予行
- 20日 体育大会全体練習 専門部生徒会・中央委員会
- 24日 体育大会全体練習
- 25日 体育大会全体練習 ノー部活デー
- 27日 体育大会全体練習 体育大会準備
- 29日 体育大会・第3回学校運営協議会 CS
- 30日 振替休日

9月完全下校時刻 18:00



夏休みの登校について

○ 学校に登校するときは、制服(帽子)・体育服(部活動ユニフォーム)を着用しましょう。夏休み中は「閉庁日(13日、14日、15日)と祝日」を除く、月曜日から金曜日までは開いています。詳しくは「夏休みのしおり」を御覧ください。

<自習室(美術室)>

期間: 8月2日・5日・6日

時間: 9:00～11:30



水の事故を防ごう！海や川でレジャーを楽しむために知っておきたい安全対策

夏を迎えると、家族や友人などと一緒に、海や川へと出掛ける機会が増えてきます。水辺のレジャーは楽しいひと時となりますが、一方で、毎年多くの「水の事故」が起きていることを忘れてはいけません。この記事では、「水の事故」の対策をまとめましたので、是非、海や川へ出掛ける際の参考としてください。

「水の事故」から命を守る7つのポイント

保護者の皆さんへ

(1) 「立入禁止」の場所には近づかない

海や川など水辺には、パッと見ただけでは分からない危険が潜んでいます。管理者や地元のかたなどによって柵が設置されていたり、「立入禁止」などの看板がある場所には、絶対に近づかないようにしましょう。

(2) 体調が悪いときは無理をしない

自身の体調を把握して、疲労や睡眠不足を感じる場合などは、決して無理をしないようにしましょう。

(3) 単独行動を避ける

一人で行動した場合、事故に遭っても周囲の発見が遅れて、深刻な事態となりかねません。複数人での行動を心掛けましょう。また、出掛ける際に、家族や関係者に行き先や帰宅時間を伝えておけば、万一のときにも異常に気付くきっかけとなり、速やかな救助につながります。

(4) こどもから目を離さない

こどもは大人と比べて危険を察知する力が弱いものです。こどもの体に合ったライフジャケットを着用させるとともに、常にこどもから目を離さないようにしましょう。

(5) お酒を飲んだら海や川には入らない

海上保安庁によると飲酒をして海水浴中に事故に遭った人の死亡率は、飲酒をしていない人の約2倍も高くなっています。海に限らず、飲酒後の遊泳は大変危険ですので、お酒を飲んだら泳がないようにしましょう。また、こどもから目を離すことにもつながりかねません。

(6) ライフジャケットの常時着用

水の事故で生死を分ける重要な要素となるのが、ライフジャケットの着用です。水中に落ちたときに、ライフジャケットが脱げてしまったり、膨張式のライフジャケットが膨らまなかったり、といったことがないよう、体のサイズに合ったライフジャケットを適切に着用するとともに、着用時の保守・点検を心掛けましょう。

(7) 連絡手段の確保

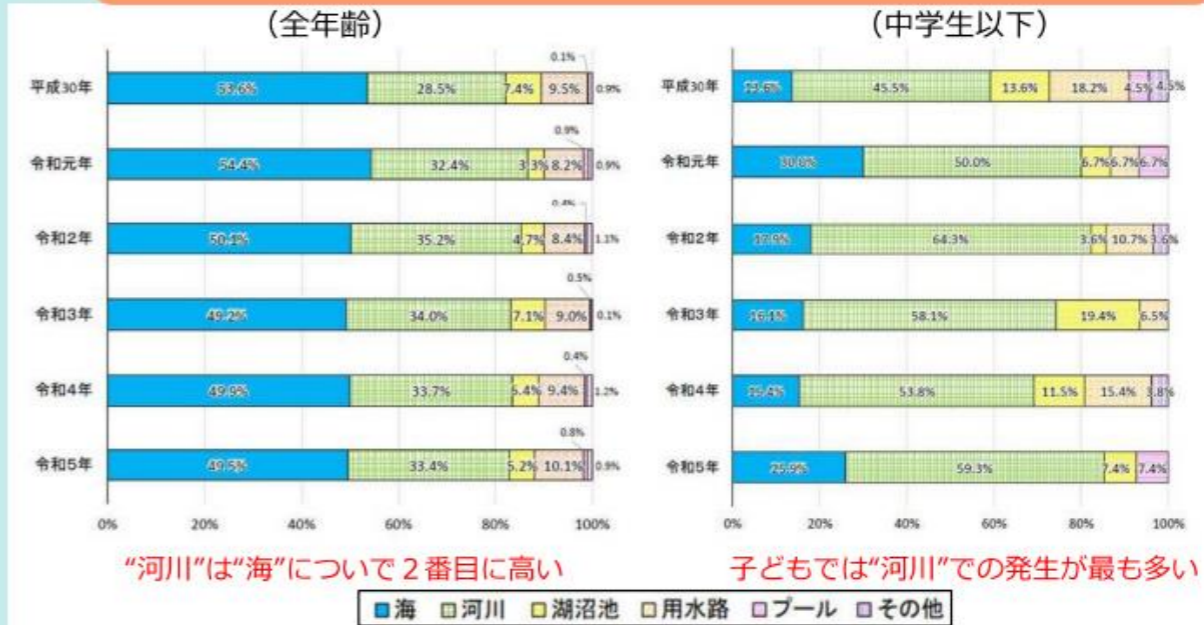
万一、水の事故が起きたときに、救助機関に速やかに通報できるよう、携帯電話などの連絡手段を確保しておきましょう。救助が必要なときは、「110番(警察)」又は「119番(消防)」に連絡しましょう。

また、海上における事故の場合は、海上保安庁の緊急通報用電話番号「118番」に連絡してください。海の事故で救助を求める際は、携帯電話のGPS機能を「ON」にした上で遭難者自身が「118番」に直接通報することで海上保安庁が正確な位置を受信することができ、迅速な救助につながります。なお、海上保安庁では、聴覚や発話に障害を持つかたを対象に、スマートフォンなどを使用した入力操作により通報が可能となる「NET118」というサービスも運用しています。

政府広報オンラインより抜粋

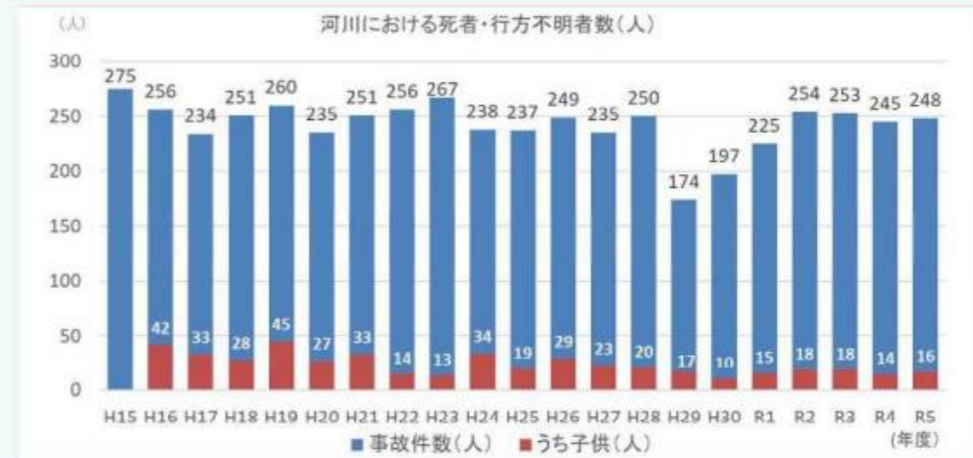
*水難事故を含め、交通事故等にも気をつけ、安全で楽しい夏休みを過ごせるようご協力をお願いいたします。

水難者（死者・行方不明者）の場所別構成比



出典：警察庁生活安全局生活安全企画課「令和5年度における水難の概況」

河川水難事故は毎年多発



○平成20年7月の都賀川水難事故では、児童3人を含む5人が死亡

【お問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川環境教育係 03-5253-8111 (代表電話)